日本ラッド株式会社

日本ラッド株式会社

2027年3月期第2四半期（中間期）
決算説明資料

2026年11月02日



目次

01　会社概要

02　事業内容

03　2027年3月期第2四半期（中間期）決算概要

04　中期経営計画の進捗

05　配当について

06　トピックス

©2026　日本ラッド株式会社

商　　号	日本ラッド株式会社
資 本 金	12億3,948万円
代 表 者	大塚 隆之
設　　立	1971年6月7日
所 在 地	〒107-6030 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル30階
連 絡 先	03-5574-7800
従業員数	328名 ※2026年4月1日現在
事業内容	システム開発、エンタープライズ製品の導入コンサルティングから開発、運用、保守、AI製品の開発に加え、製造業向けDX事業を中核にIoT製品の導入コンサルティングから開発、運用、保守等幅広く展開
関連会社	One’s House、ライジンシャ

©2026　日本ラッド株式会社

IT分野における顧客企業のホームドクター

Since 1971



エンタープライズソリューション事業

各種システムの受託開発および導入コンサルティング、各種アプリケーションの開発支援、AIソリューション提案、ビッグデータ解析の構築支援等を行う

売上構成比率

62.3%



IoTインテグレーション事業

プラットフォーム・ソリューション開発、ハードウェアを起点としたシステム製品の開発・販売、組込み系システムの受託開発、エッジAI開発等を行う

売上構成比率

37.7%

©2026　日本ラッド株式会社

第2四半期決算サマリー（中間期）

売上高
18.0億円
前年同期比　▲9.7%

エンタープライズソリューション事業
11.2億円
前年同期比　▲3.3%

IoTインテグレーション事業
6.7億円
前年同期比　▲18.5%

売上高総利益率
17.7%
前年同期比　▲3.5pt

営業利益
▲0.8億円
前年同期比　-%

EBITDA
▲0.4億円
前年同期比　-%

©2026　日本ラッド株式会社

損益計算書（P/L）

- ➢ 売上高は前年同期比9.7%減の**1,800百万円**にとどまる
- ✓ 下期（第3四半期・第4四半期）に向けて**映像・DX関連大口検収案件集中**
- ➢ 営業利益は**▲87百万円**（前年同期は50百万円の黒字）と苦戦
- ✓ 第1四半期（営業利益▲51百万円）に対し、第2四半期は▲36百万円と**赤字幅は縮小**

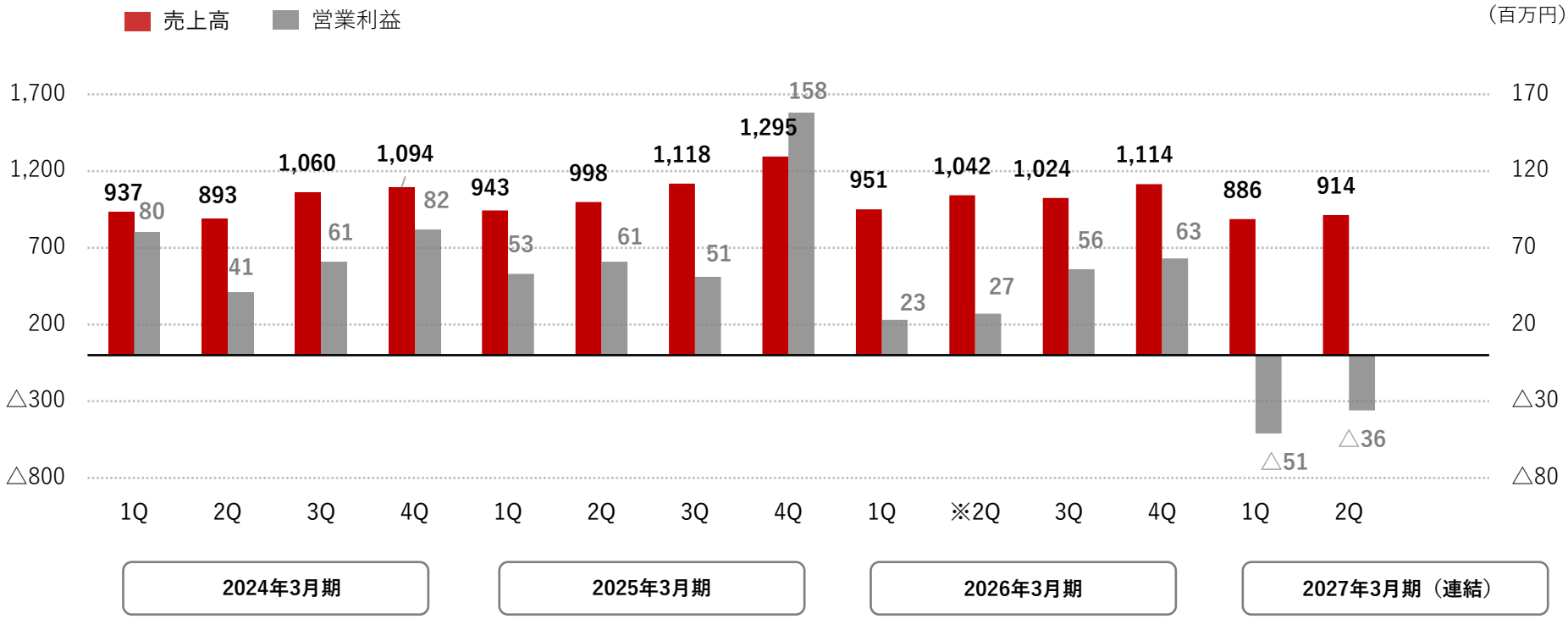
（発生額 ：百万円）

	2026年3月期						2027年3月期			前年同期比率
	第1四半期	第2四半期	中間期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	中間期	
売上高	951	1,042	1,993	1,024	1,114	**4,131**	886	914	**1,800**	▲9.7%
営業利益	23	27	50	56	63	**169**	▲51	▲36	**▲87**	-%
経常利益	83	31	113	62	69	**244**	18	▲30	**▲12**	-%
当期純利益	47	23	69	27	69	**164**	7	▲24	**▲17**	-%

©2026　日本ラッド株式会社

売上高・営業利益の四半期推移

- AI駆動開発案件の売上計上が下期に集中し、**売上高はボトムヘビーで推移**
- 上期は先行投資や開発体制強化の影響あったが、下期は検収進展により**収益性の改善**を図る
- AI駆動開発については試行錯誤を繰り返している段階、引き続き最優先課題として取り組み



※2026年第2四半期以降　連結数値

©2026　日本ラッド株式会社

エンタープライズソリューション事業

- ➢ 従来型（準委任）から**「受託請負型・AI駆動開発」への急速な構造転換途上**
- ✓ AI駆動開発への移行過程において、顧客の既存仕様や業務文書をAI活用に適した要件へ再整理する「上流工程」や「設計・検証手順の標準化」に追加工数が発生し、一部案件で一時的に収益性が低下している
- ➢ **大口顧客向けプロジェクトでの契約形態・開発手法変更での一時的ボトムヘビー傾向**

（発生額 ：百万円）

	2026年3月期						2027年3月期			前年同期比率
	第1四半期	第2四半期	中間期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	中間期	
セグメント売上高	595	578	1,173	615	654	**2,441**	569	577	**1,146**	▲2.3%
セグメント利益	88	54	142	111	123	**375**	92	78	**170**	19.7%
セグメント利益率	14.7%	9.3%	12.1%	18.0%	18.8%	**15.4%**	16.2%	13.5%	**14.9%**	2.8pt

※売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて表示しております。

©2026 日本ラッド株式会社

IoTインテグレーション事業

- ➢ **映像分野における「画像AI・映像トータルソリューション」への先行投資での収益悪化**
- ✓ ソリューションプロバイダへの進化として組織体制を倍増、自社製IPビデオサービスの開発投資および体制強化に伴う人件費等の固定費を先行させつつ、**下期公共向け大型案件完工**
- ➢ **製造業DX一次世代プロダクト群の開発投資とラインナップ拡充**
- ✓ コンポーザブルMES「Konekti MX」、データ統合プラットフォーム「Dereva」の拡張

（発生額 ：百万円）

	2026年3月期						2027年3月期			前年同期比率
	第1四半期	第2四半期	中間期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	中間期	
セグメント売上高	359	473	831	432	480	**1,744**	328	350	**678**	▲18.4%
セグメント利益	59	77	137	55	54	**245**	▲19	5	**▲14**	-%
セグメント利益率	16.4%	16.3%	16.5%	12.7%	11.3%	**14.0%**	-%	1.4%	**-%**	-pt

※売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて表示しております。

©2026 日本ラッド株式会社

キャッシュフロー

- 損益面の赤字にかかわらず、**営業CFは98百万円のプラスを維持**
- 前年同期に実施した子会社取得に伴う支出が無くなった事や、AI時代での新規投資案件の選別化を進めたことにより投資キャッシュアウトは大きく減少しておりますが、**AI/DXセグメントのパートナー・開発投資は積極的に推進中**
- 現金増減額は10百万円の減少にとどまり**流動性は19億円強と、引き続き戦略的に投資を行えるレベルを維持**

（百万円）	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比 増減
営業活動によるCF	200	98	△102
投資活動によるCF	△277	△53	224
財務活動によるCF	△53	△56	△3
現金及び現金同等物の増減額	△130	△10	120
現金及び現金同等物の期末残高	2,054	1,951	△103

©2026　日本ラッド株式会社

貸借対照表（B/S）

- ➢ 総資産の減少と流動負債の圧縮で**流動比率（518%）に向上**
- ✓ 主因は**受取手形、売掛金及び契約資産の減少（▲384百万円）**
- ✓ 主因は**賞与引当金の減少（▲131百万円）**
- ➢ 自己資本比率は**74.3%（前期末比 ＋3.0pt）へ向上**し、引き続き健全な財務基盤を維持

（百万円）

資産の部	2026年3月期	2027年3月期 中間期	増減
流動資産	3,161	2,866	△295
固定資産	1,788	1,821	33
有形固定資産	238	231	△7
無形固定資産	261	268	7
投資その他の資産	1,288	1,320	32
資産合計	**4,950**	**4,688**	**△262**

負債・純資産の部	2026年3月期	2027年3月期 中間期	増減
流動負債	772	553	△219
固定負債	650	650	0
負債合計	**1,422**	**1,203**	**△219**
株主資本	3,422	3,352	△70
評価・換算差額等	105	131	26
純資産合計	**3,528**	**3,484**	**△44**
負債純資産合計	**4,950**	**4,688**	**△262**

©2026　日本ラッド株式会社

業績予想

➢ **構造転換の過程で大口案件を中心にボトムヘビー型の売上構造（受託開発シフト）が復活**

✓ 受託開発ビジネスにおいて、構造転換に必要な研究開発・先行投資的人的育成を含むボトムヘビーのパイプライン（案件積み上げ）を形成中

➢ **DX系案件の検収が下期に集中、パイプラインは順調に拡大**

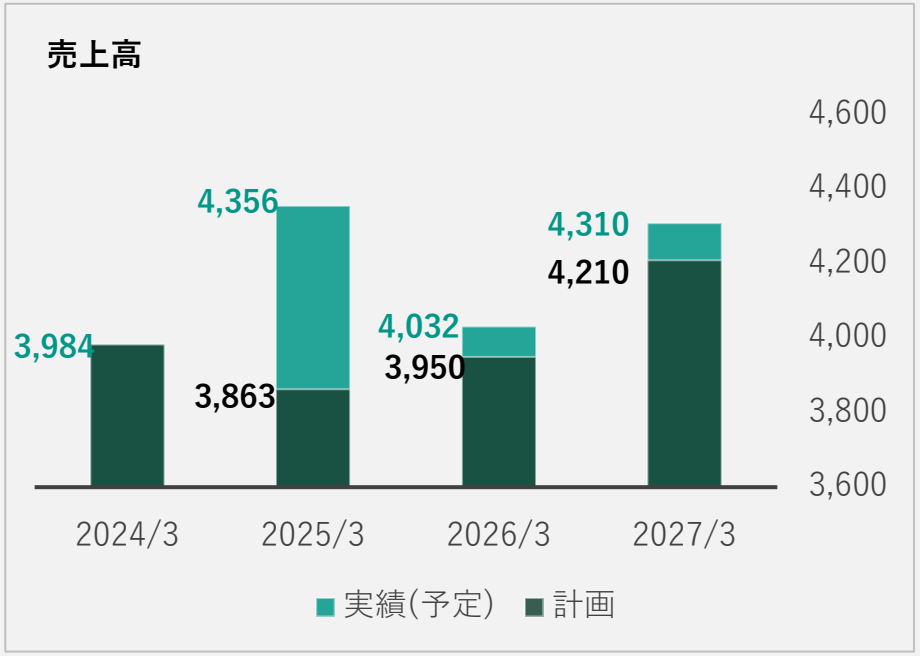
✓ 製造業向けDX系案件の多くが下期（3Q・4Q）に検収時期を迎える予定

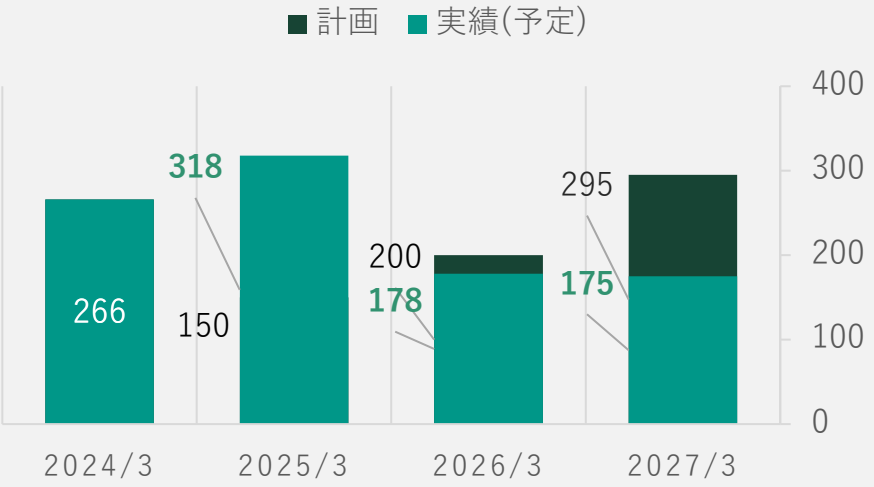
✓ 先行投資中の映像ソリューションで大型公共案件が下期完工

（百万円）	2027年3月期 中間期（実績）	2027年3月期（予想）	進捗率（%）
売上高	1,800	4,340	41.5
営業利益	△87	175	-
経常利益	△12	253	-
当期(第2四半期）純利益	△17	165	-

©2026　日本ラッド株式会社

中期経営計画について、3期目の当期は劇的な環境変化に対応する構造改革費用と人的投資として、映像ソル事業の積極展開とAI駆動開発立ち上げ等にて1億円程度の中計比減益を現状想定しております。3期合計での売上・利益は計画に沿っており、成長投資を続けてまいります。





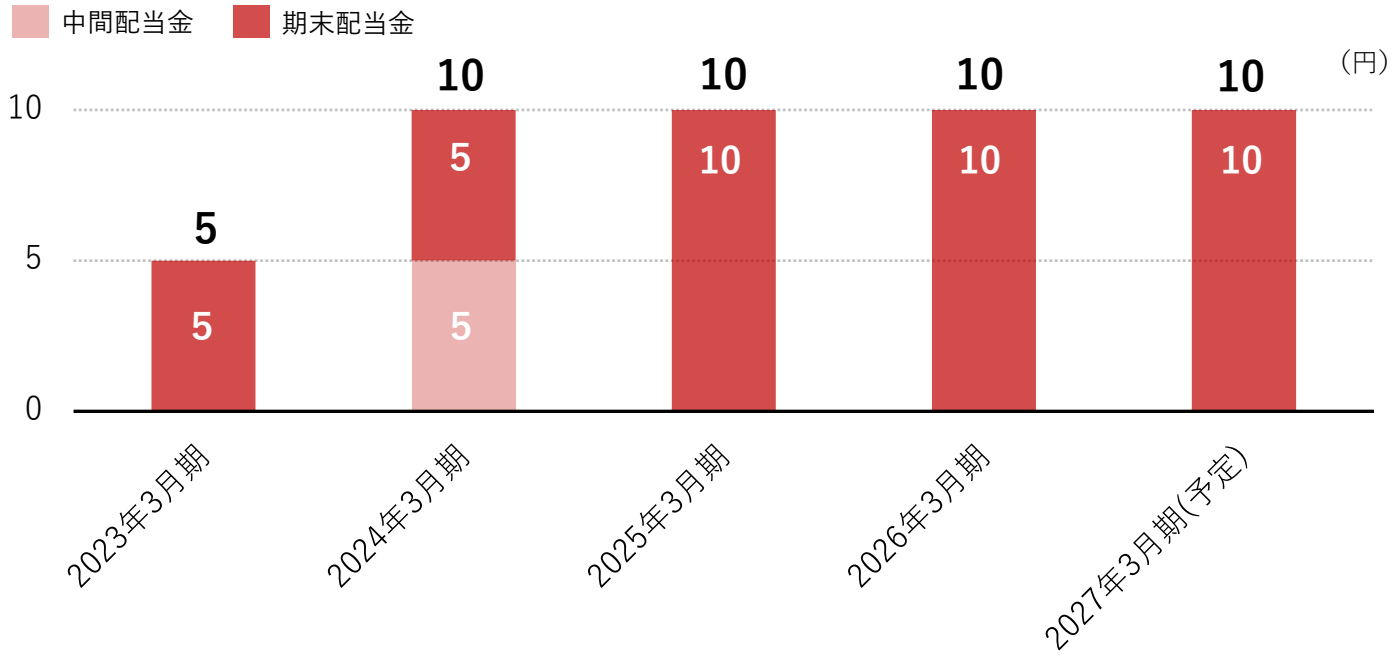
目標数字(単体ベース)

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2027年3月期 (連結時参考数字)
売上高	3,863	3,950	4,210	5,000
営業利益	150	200	295	-

©2026　日本ラッド株式会社

配当金の推移

- 2023年3月期の「1株5円」から、2024年3月期以降は**「1株10円」へ還元水準を2倍に拡充、今期は配当性向32%を予定しています**
- 中計方針の、投資も重視しながらの配当性向維持努力を継続しつつ、株主様還元を重要指標として配当性向を向上していけるよう努めてまいる所存です。



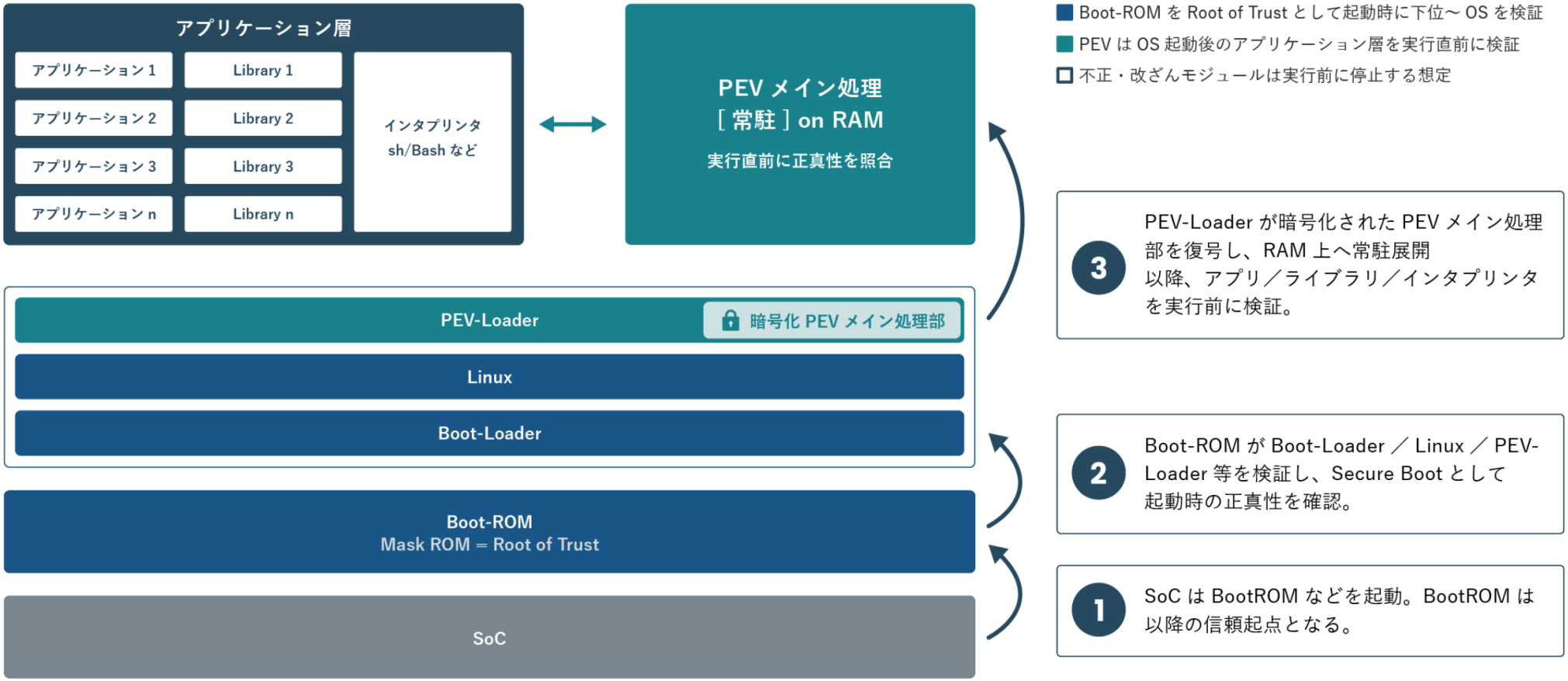
配当性向	18.7%	15.9%	16.4%	32.0%	32.0%

©2026 日本ラッド株式会社

エンベデッドソリューション：蓄積したセキュリティ技術を応用して、高速アプリケーション実行前検証エンジン「PEV」を開発、広く産業界に向け展開開始

Secure 保護の役割分担イメージ

Boot-ROM を Root of Trust として Secure Boot で起動時検証、PEV はアプリケーション層を実行前に検証



©2026　日本ラッド株式会社

放送事業者向けBolin PTZカメラのスタジアム導入とリモート運用加速、猛暑酷寒豪雨等の過酷環境下でも撮影者の健康を守りつつ安定した高品質映像を撮影可能に

酷暑・豪雨下でも「カメラ位置を無人に」出来る、IP67 ‐40℃～+60℃までの過酷環境に耐える高性能カメラで撮影スタッフの健康・安全と映像クオリティの両立を支援しました



スタジアムのセンター観客席に設置されたBolin EXU248F。カメラ位置を無人とし、中継席からリモート操作。



リモート操作風景

©2026　日本ラッド株式会社

『テロ対策特殊装備展’26（SEECAT）』に出展ー高セキュア映像取得～伝送デバイス／システムを幅広く新規展開中の映像ソリューション事業で、カメラと現場のラストワンマイルを繋ぐカメラドローンと超高セキュア対応伝送のプロ向け展示を実施

展示会概要

- 会期：2026年9月30日（水）～
  10月2日（金）
- 時間：10:00～17:00
- 会場：東京ビッグサイト 南ホール
- 小間番号：4F-25
- 完全事前来場登録制（入場審査あり）

出展内容

- 最大8時間以上飛行可能な最新VTOL機を展示
- 広域監視・災害対応・インフラ点検などへの活用を紹介
- 各国の政府機関や公共安全分野で採用されている
  コマンドセンターシステムを出展
- 現場情報のリアルタイム統合・可視化により、
  迅速な意思決定と効率的な指揮運用を支援
- 会場ではデモンストレーションや導入事例も紹介

©2026　日本ラッド株式会社

サイボウズ様のkintone導入事例に、当社がkinterpでの導入・アプリ開発を支援した富士電子工業様の、当社AI-OCR技術を活用した劇的な現場工数削減事例が公開され、製造業ERPにおいても紙→デジタルへの極めて有効な道筋の紹介となりました

Before

手書きの記録・パソコン入力の
二重作業で現場が疲弊



- 記録項目が多いなか、手書きと転記の二重作業
- 進捗確認のたびに、営業が現場へ
- あとでまとめて入力するため、データが不正確に

After

写真1枚で30項目を自動記録、
年間6,800時間を削減



- タブレットで撮影するだけでデータを自動記録
- 受注～出荷までの工程進捗をリアルタイムで把握
- 正確なデータで現場改善・標準化を加速

©2026　日本ラッド株式会社

本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

日本ラッド株式会社 経営企画室

TEL 03-5574-7801

Email: press-release@nippon-rad.co.jp